

# こんな本よんでみましょう

(解題)

## 1. 『いっしょにおつかい』(E2)



あるひスーザンは おかあさんに おつかいを たのまれました。ホーシーフェザーおばさんの いえにいて、はちみつを1ぱいもらってくる のです。

スーザンは うさぎのウィルをさそって おばさんのいえにでかけていきます。

でも のはらでヒナギクをつんだり、かけっこ したり、いけでボートにのったり・・・

あらあら おつかいは どうしたのでしょうか。 それに おばさんのいえって いったいどこに あるのでしょうか？

チャルマーズの絵本シリーズ 『エミーゼーンのぼうし』もあわせて読んでみてね。

## 2. 『おおきなカエルティダリク』(E7)



オーストラリアに ずっとむかしから すん でいた アボリジニ・ガナイぞくに つたわる おはなしです。

ティダリクは だいへいげんに すむ もの すごく おおきいカエルで、かんかんでりのな か ひとりて いけも おがわのみずも みんな のみほしてしまいました。こまったどうぶつ たちは、ティダリクの のんだみずを はきだ させるために なんとか わらわせようと が んばりますが、なかなかわらわれない……

さいごにわらわせたのは、だれだ？

### 3. 『人形の家にすんでいたネズミ一家のおはなし』(E2)



おしろのような大きなおやしきの中にある とびきりすてきな<sup>にんぎょう いえ</sup>人形の家、15ひきのねずみの<sup>いっか</sup>一家が、しあわせにくらしていました。

ところがある日、おやしきが、きれいにぬり直されて、人形の家は、なんだかみすぼらしく見えるようになってしまったのです。さあ、たいへん！このままではこの家<sup>いえ</sup>は、どこかにやられてしまうかもしれません！そこで子ネズミたちは、「人形の家<sup>にんぎょう いえ</sup>もぴかぴかにしよう！」と<sup>おも</sup>思いますが・・・

『くまのパディントン』シリーズで知られるボンドの文章に、画家サットンが細部まで描きこまれた絵を添えた、何度読んでもすみずみまで楽しめる絵本です。

### 4. 『たんけんクラブ シークレット・スリー』(JAマイ)



うみべのビリーのいえに なかよしのマークが とまりにきたとき、すなはまで いっしょに みつけたのは、ふしぎな てがみいりのびん。しまにすむトムからで、たんけんクラブへのおさそいだった。じぶんたちも あんごうつきのへんじをかいて びんにいれて うみにながしたのが、であいの おおもと。

さて、はじめてあうときの ひみつのサインは どうする？ あいことばは なににする？ どこで なにする？

わくわくするような たんけんのきもちがつまった ものがたりです。



## 5. 『あそびうたするものこのゆびとまれ』(N)



みんなは、あそびうたをなんこしてる？  
“かってうれしい はないちもんめ”のあと  
につづくうたは なーんだ？

このほんには、さそいうたや おまじないう  
たなど こどもたちが ずっとまえから うた  
ってきた あそびうたを たくさんあつめて  
あります。おもしろいイラストが それぞれ  
につけられていて、つぎのページをめくるの  
がたのしみです。

『あそびうたするもの よっといで』も かぞ  
えうたや えかきうたなど よくしられてい  
るうたを あつめてあります。

## 6. 『いばりんぼうのカエルくんと こわがりのガマくん』(E3-10)



ひだりからひらく よこがきのページは  
カエルくんのはなし。ふゆのたんぽで ぐっ  
すりねていた カエルくんは、セキレイくん  
に ふまれて めがさめちゃったけど、まださ  
むくて うまくうごけない。じたばた こおり  
のうえを あるいているうちに たいへん、こ  
わいとりの モズにみつかったみたい  
い。さて、カエルくんの うんめいや いか  
に？

みぎからひらく たてがきのページは ガ  
マくんのはなし。とうみんから めをさまし  
た ガマくんは ふるさとのいけを めざして  
あるいていく とちゅう ヒルやタコガエル  
に しがみつかれ すすめなくて もうたいへ  
ん。ぶじに メスをみつけれられるかな？

## 7. 『はたらくじどう車くらべ』(53)



はたらくじどうしゃをくらべる本。

1巻は「バスとトラック」をくらべるよ。  
たくさんの人をはこぶ車がバス、たくさん  
のものをもつをはこぶ車がトラックだよ。

では、そのためにどんなくふうがあるんだ  
ろう？ まえから、よこから、うしろから、  
くらべてみると・・・まどの大きさ、タイヤ  
のかず、見た目にはわからないけど、エン  
ジンの場所もちがうんだって！ みんな  
しってた?! この本をよむと、いろいろな  
車を、よーく見たくくなりますよ！

「パトカーときゅうきゅう車」「しょうぼう  
車とクレーン車」などたくさんの車をしょ  
うかいした シリーズ全6巻<sup>かん</sup>です。

## 8. 『かえるのエルタ』(JA+カ)



かんたはくさむらのなかで、赤目<sup>あかめ</sup>のあおがえる  
をみつけました。それは、おもちゃのかえるで  
したが、かんたはエルタというなまえをつけ  
て、うちにもってかえりました

ところが、おもちゃだとおもっていたエルタが  
とつぜん「レロレロレロ」となきだしたので  
す。それは、大雨<sup>おおあめ</sup>の日のことでした。エルタは  
「こんな大雨じゃ かえるだっておぼれちゃ  
う」とうたいます。すると、どうでしょう。大  
雨はきれいにやんで、かんたのまえに、青<sup>あお</sup>いう  
みと みどりいろのふねが あらわれたので  
す。ふねのなまえは、うたえみどりのはっぱご  
うです。かんたとエルタはこのふねにのってし  
ゅっぱつするのですが…………



## 9. 『こわいオオカミのはなしをしよう』(マク)



マイケルはパパのおはなしが大すき！

とくに“こわ〜いオオカミ”がでてくるおはなしがお気に入り。

こんどの、パパのおはなしの主人公はメンドリのレインボーと、肉屋の包丁みたいな牙をはやしたこわ〜いオオカミのウォルドー！

ウォルドーは、ある夜、農家のにわとり小屋から、レインボーをぬすんで食べようとしてますが・・・。

ベッドの中から始まったこのおはなしは、親子で出かける公園や海へ行く道すがら、ずっとつづいていきます。“マイケルとパパ”“レインボーとウォルドー”のふたつのおはなしが1冊で楽しめる本です。

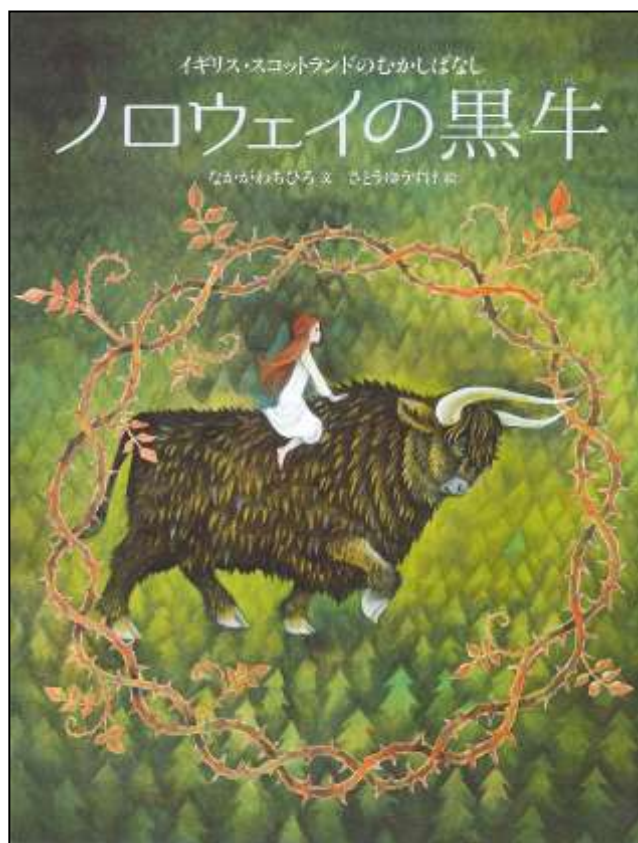
## 10. 『海のおばけオーリー』(E2)



おかあさんあざらしが、海へおさかなをたべにいているあいだに、あざらしの赤ちゃんはにんげんにさらわれてしまいました。動物やさんに売られた赤ちゃんあざらしは、オーリーという名前をつけられました。

みずうみのそばの水族館の人気者になったオーリーでしたが、やがておさかなをたべるげんきもなくなってきました。おかあさんにあいたくなつたからです。とうとうある日、水族館の館長さんは、よわっていくオーリーをこれ以上苦しめるのはかわいそうだといって、飼育係にオーリーをころすようにいのですが……

## 11. 『ノロウェイの黒牛』(E7)



イギリス・スコットランドで語りつがれている昔話「ノロウェイの黒牛」

「わたしはノロウェイの黒牛と結婚する」と言ったばかりに、身の毛もよだつ怪物とされるノロウェイの黒牛と旅に出ることになってしまった娘。黒牛の背に乗り、はてしない旅を続ける途中、黒牛に呪いがかけられていることを知った娘は、何とかその呪いをとこうとしますが・・・。

黒牛と娘のふしぎな恋の物語。再話者により、少しずつ物語が変わっていますが、この絵本はイギリス人女性作家フローラ・アニー・ステールの再話によるものです。

## 12. 『マタギに育てられたクマ』(489)



秋田県白神山地のふもとにある温泉旅館には、2頭のクマが飼われています。旅館の主人の吉川さんは「マタギ」でもあります。

「マタギ」とは、東北地方の山地を中心に昔ながらのしきたりを守りながら、ツキノワグマなどの狩りをする人々のことです。

なぜ、クマたちは吉川さんに飼われることになったのでしょうか？

四月の終わり、吉川さんは近所に住む直じいさんと、クマうちに出かけました。そして仕留めたクマは子どもを産んだばかりの母グマだったのです。赤ちゃんグマはほおっておけば死んでしまいます。そこで親ばなれする2歳まで面倒をみることにしたのですが・・・。



# 13. 『大豆まるごと図鑑』(61)



「おにはそと ふくはうち」と節分にまく 丸くころころした大豆(炒り豆)ですが、ふつうは丸い形のままでなく、すがたをかえて加工していろいろな食品として 毎日のように わたしたちの口に入ります。(たとえば とうふ・なっとう・しょうゆ・みそなど)

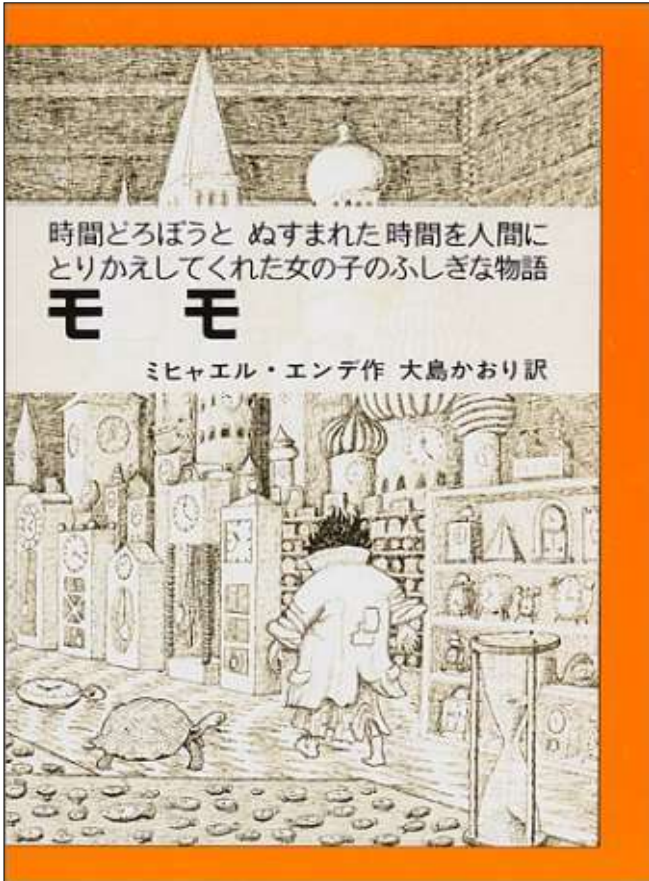
日本人の生活にかかせない 大切な食べ物の大豆を その歴史・種類・栄養・栽培方法・利用・料理・アレルギー・ことわざなど 多方面から 掘り下げられていて、大豆のことを知りたいという みなさんの関心に きっとこたえてくれるでしょう。

# 14. 『からくり探偵団』(フジ)



小学5年生のタクミと草介は、幼稚園からの幼なじみです。ある日、ふたりが遊園地にある双眼鏡をのぞいていると、4階建てぐらいのマンションから女の子が落ちそうになっているのがみえました。あわてて現場にかけつくと、ちょうどねこが人の手のようなものをくわえてにげていくところでした。落ちそうだった女の子は無事で、そのねこをつかまえようと、ベランダからからだを乗り出したところだったのです。人の手に見たものは女の子のお父さんの形見のからくり人形の手だったのです。三人がねこを追っていくと、ねこはある家にとびこみました。そこは指物師の家でした。指物師ってなんでしょう？形見はみつかるのでしょうか？

# 15. 『モモ』(エン)



モモはひとりぼっちで、<sup>えんけいげきじょう</sup>円形劇場の<sup>はいきょ</sup>廃墟にすんでいます。モモのみかけはみすばらしいものでしたが、なぜか、モモに話を聞いてもらった人たちは、心が豊かになるのです。けんかをするのもばからしくなり、誰もが楽しい気分になって 新しいアイデアを思いつくのです。そこで、町の人々は、モモの暮らしを助けてくれるようになりました。ところが、ある時、<sup>はまき</sup>葉巻をくわえた灰色の<sup>しんし</sup>紳士たちがやってきて、人々の時間をどろぼうしていくようになったのです。時間に追い立てれた大人たちの心はギスギスし、ゆとりのない、つまらない暮らしになっていきました。そんな時、モモの前に一匹のカメがあらわれました。その<sup>こう</sup>甲らには「ツイテオイデ！」という文字が<sup>う</sup>浮き出ていたのです。カメは、モモをどこにつれていくつもりなのでしょう？時間を取り戻すために、モモの<sup>ぼうけん</sup>冒険がはじまります。